

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

学校名	基山町立基山中学校			
1 前年度 評価結果の概要	年度当初に立てた重点取組内容の多くは、成果指標に照らし合わせて、概ね達成できたと思われる。学校評価に関する生徒、保護者、職員へのアンケート結果も肯定的な評価が多い。学校評議員の方々も学校の取組に理解を示し、生徒の様子に関しても好印象を持たれている。学校長のリーダーシップの下、全職員が同じ方向を向き日々の教育活動に取り組んでいる。本校の課題である特別支援教育と不登校支援に関しては、今後も全職員で情報を共有しチームで対応していく体制をつくっていく。また、家庭や外部機関とも連携を図り個々の生徒に寄り添った対応をていねいに重ねていく。学習面では、12月の県調査において、正答率の対県比が教科において下回ったものがある。生徒の学力の現状を分析しながら、さらなる職員の指導力向上を目指していかなければならない。			
2 学校教育目標	「きたえ やりぬき まなびあう」 ～自ら考え、行動する生徒の育成を目指して～			
3 本年度の重点目標	①「基本的生活習慣」の定着・落ち着きのある学校生活 ②「豊かな心」の育成 …思いやりのある風土づくり ③「生徒(会)活動」の充実 …活力に満ちた活動 ④「確かな学力」の定着 …考える力を身に付け、自ら学び続ける生徒の育成 ⑤「組織力」の強化 …「いしがき」をイメージした組織づくり			
4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	●全職員が授業づくりのステップ1・2・3の内容を共通理解し、共通実践を目指す。	●学力向上対策評価シートに記載したマイプランの成果指標を達成した教師の割合が90%以上をめざす。	●各職員が立てたマイプランを共有し、校内研修や授業研究会等で取組を促進する。	●学力向上コーディネーター ●研究主任
	○生徒一人一人が、主体的に学習に取り組む授業づくりを目指す。	○12月県調査の正答率の対県比が全教科で1.00を上回り、かつ前年対県比から0.02ポイントの上昇を目指す。	●授業の振り返りとともに重点を置いた授業の展開を実施する。 ●授業でのタブレット活用を促進し、生徒が主体的に取り組む授業を実施する。	●学力向上コーディネーター ●研究主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性など、豊かな心を身に付ける教育活動を実施する。	○学校評価アンケートの「特別の教科 道徳」に関する質問において、その取組や成果に肯定的な回答を行った教師、生徒の回答の割合が90%以上を目指す。	●「考え議論する道徳」の授業の実践を行う。 ●人権週間での集会や標語作成を実施する。	●道徳教育推進教師
	●いじめの早期発見、早期対応体制を充実させる。	○学校評価アンケートのいじめを許さない雰囲気作りや教師の指導に関する質問において、肯定的な回答を行った教師、生徒の回答の割合が90%以上を目指す。	●PTAと連携したボランティア連携活動を実施。 ●週末アンケートの確実な実施、内容の把握、早期対応、早期指導を行う。 ●いじめ防止研修会を実施する。	●生徒指導主事
	◎本校教育目標「きたえ やりぬき まなびあう」を念頭に置いた志を高める教育の実践を行う。	○学校評価アンケートの「自分の夢や目標に向かって努力を続けているか」という質問に対して、肯定的な回答を行った生徒の回答の割合が90%以上を目指す。	●学習や学校行事、部活動等で生徒が主体的に活躍できる場を多く設定した活動を行う。 ●学習や学校行事、部活動において活動の振り返りを行う場面を設定する。	●主幹教諭
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣を形成させる。	○学校評価アンケートで「早寝早起き朝ごはん」に関する質問で、これを実践している生徒、実践を生徒にさせている保護者の肯定的な回答の割合が90%以上を目指す。	●学習成果と生活リズムの関係について学級指導を行う。 ●各集会において、礼法指導を行い、節度ある行動の意識付けを行う。	●保健主事 ●生徒指導主事
	○望ましい食習慣の確立を目指す。	○学校評価アンケートの質問「健康に食事は大切である」に対して、生徒の肯定的な回答を行った生徒の回答の割合が90%以上を目指す。	●学校給食を教材に、バランスのとれた、健康づくりに特化したメニューを考案させる。	●保健主事 ●給食担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間を削減する。	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	●県と町の部活動ガイドラインを遵守する。 ●行事等の精選を行い、ゆとりのもてる時間の確保をする。 ●学校閉庁日を設定する。	●教頭 ●主幹教諭
	○働き方改革を推進する。	○教職員全体に対して、勤務時間を意識した働き方を浸透させるために、毎月の職員会議で呼びかける。	●定時退勤日の確実な実施を行う。 ●教職員のメンタルヘルスチェックを実施する。	●校長 ●教頭
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組 重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○特別支援	○生徒の特性を理解するための職員の研修を深める。	○講師を招いた特別支援教育に関する研修会を開催する。 ○特別支援教育推進委員会を毎月実施する。	●夏季休業中に、研修会を開催する。 ●特別支援教育推進委員会で協議した内容を全員が共有できるよう連絡体制を確立する。	●特別支援教育コーディネーター
○不登校支援	○家庭との信頼関係を築くために、綿密に連絡を取り合う。 ○専門機関との相談体制を計画に行う。	○新たな不登校の発生0を目指す。	●SC、SSWを交えた教育相談部会を定例化する。 ●教育相談部会の内容を全職員で共通理解するための体制をシステム化する。	●教育相談担当
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望				